

1. 次の言葉を説明しましょう。

①玉結び：縫った糸が抜けないようにするために、手縫いを始める前に、糸端を結ぶこと。

②糸こき：縫っていくうちに縮んだ布をしごき、のばすこと。

③玉止め：縫い終わった糸がほどけないように、結んで止めること。

2. 次の①～⑥について、それぞれの縫い方の説明にあうものを選びましょう。

- ①しつけ縫い (イ) ②半返し縫い (エ)
 ③本返し縫い (ア) ④まつり縫い (オ)
 ⑤かがり縫い (カ) ⑥ちどりがけ (ウ)

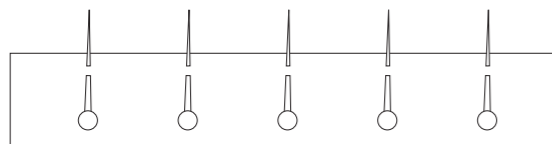
- ア. 手縫いだが、ミシンの縫い目のように見える縫い方。丈夫に縫うことができる。
 イ. 本縫いの前に布と布がずれないように行う。できあがり線の1mm外側を縫う。
 ウ. 布を裁ち目のまま、ほつれないように止める時に行う方法。
 エ. 縫い進む方向とは逆の方向に一針戻ってから、縫い進む方向へ3針分すくって縫うことをくり返す縫い方。
 オ. すそやそでぐちなど、表側に縫い目を目立たせたくない時に使う縫い方。布を三つ折りにし、下側の布のタテ糸を1～2本すくい、折山の内側から外側に針を出し、真横に縫っていく。
 カ. 布端がほつれないようにしまつする時などに使う縫い方で、布端を巻くようにして縫っていく。

3. 4つ穴ボタンを付ける手順について、次の文章を正しく並べ替えましょう。

- ①糸足に、上からすきまなく、糸をかたく巻き付ける。
 ②ボタンを付ける位置に布の表から針を入れて一針すくう。
 ③針を裏側に出して、玉止めをし、表側に針を出して糸を切る。
 ④ボタンの裏から針を入れ、ボタンに糸を通し、針を布地に入れる。これを3～4回くり返す。

(②) → (④) → (①) → (③)

4. まち針を打つ時の正しい順番を、() に書き入れましょう。



(①) (③) (②) (③) (①)

5. ミシンの準備について、次の文の空欄にあてはまる語を、下の語群から選んで書き入れましょう。

【語群】 針止めねじ 手前 上糸糸案内 平らな 丸い ボビン押さえ 押さえ 内側 外側
 糸立て棒 はずみ車 針棒糸かけ 均等 30 15 上糸 下糸 天びん コントローラ

- ①針を付けるには、まず、(はずみ車) を手前に回し、針棒を上げます。
 (針止めねじ) をゆるめ、針の (平らな) 面を針棒の溝に付け、ピンにつきあたるまで差し込みます。
 ②下糸を巻くには、(糸立て棒) にミシン糸を差し、糸を糸案内にかけます。次に、糸をボビンの穴に (内側) から通し、糸巻き軸にボビンを差し込みます。ボビンを (ボビン押さえ) に押しつけ、はずみ車を引き出して、(コントローラ) をふんで糸を巻き付けます。ボビンに数回糸が巻き付いたら、一度ミシンを止めて、ボビンの穴から出ている糸を切ります。糸の巻き方が (均等) になっているかを確認し、続きを巻き、巻き終わったらボビンをもとに戻して糸を切ります。
 ③上糸をかける順番は、まず、糸立て棒のミシン糸から (上糸糸案内) に糸を通し、糸案内板の下を回して左上に引き上げます。(天びん)、糸かけ、(針棒糸かけ)、針穴の順に上糸をかけていきます。
 ④下糸を出すには、上糸を左手で持ち、はずみ車を (手前) に回します。一度下りた針が上がってきたら、上糸を静かに引きます。(下糸) が輪になって上がってくるので、引き上げ、上糸といっしょにそろえて、押さえの向こう側に (15) cm ぐらい出します。

6. ミシンの縫い目の上糸の調子が強すぎる時、どうすれば直りますか。

(上糸調節ダイヤルを、目盛りの数字が小さくなるよう動かす。)

7. 次の問に答えてみましょう。

- ①縫い目の大きさは、3cmの間に何目くらいあればよいですか。(13～17目)
 ②糸がほつれないように、縫い始めや縫い終わりを逆方向にも縫うことを何といいますか。(返し縫い)
 ③ミシン縫いに失敗し、縫い目をほどく時に使う道具を何といいますか。(リッパー)

8. 衣服製作の手順を、流れにそって順番に並べ替えましょう。

- ア. 型紙の用意 イ. 本縫い ウ. 布地の用意・地直し エ. デザイン
 オ. しるしつけ カ. 製作計画を立てる キ. 仮縫い・補正 ク. 裁断 ケ. 採寸
 コ. 仕上げ サ. 用具の準備
 (カ → エ → ケ → ア → ウ → サ → ク → オ → キ → イ → コ)

9. 次の布に関する用語について、意味をまとめてみましょう。

- ①耳…織物の、ほつれない両端の部分。 ②わ…布を折った際の折り山のこと。
 ③布目…布の縦横の織り目のこと。 ④中表…布の表と表を内側にして合わせた状態のこと。